

IGF2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 47 回会合 発言録

加藤： それでは、まだお集まりにならない方もいらっしゃるかもしれないですけども、ここで第 47 回活発化チーム会合をスタートさせていただきたいと思います。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。山崎さん、きょうは飯田さん含めて、総務省の方は。片柳さんはいらっしゃってますが。特にご報告とかというのはないですよ、山崎さん。

片柳： 総務省の片柳と申します。

加藤： 片柳さんからご報告、何かいただくことございます？ いただければありがたいんですが。

片柳： 現時点で特にございません。ありがとうございます。

加藤： すいません。飯田さんもご欠席と伺っていて、特に、このところアップデートはないというふうに理解してますけれども。

片柳： ご理解のとおりだと思います。

加藤： すいません。

片柳： すいません。

加藤： いえ、とんでもないです。

片柳： ありがとうございます。

加藤： それと、私から言うのもあれなんですけど、MAG の河内さんが、お身内にご不幸があって、きょう今の時点でご出席いただけない。地方にいらしてて、ご出席いただけないんじゃないかと思えます。そういうやりとりをしてみましたので。それで MAG の報告というのが、河内さんから聞けないんですけども。前回、この活発化会議は 3 月 11 日にやりまして、その後、3 月 14 日に第 5 回の MAG 会議があったはずなんです。そこで、皆さんご承知のセッション募集についての議論とかがあって。そのセッション募集については、既に。少しもともとの予定より遅くなったんですが、4 月末までにセッションを募集するということが決まりましたので、その辺のことが中心だったのではないかというふうに思っています。もし、ここにいらっしゃる方で、MAG 会議に関して、さらに情報をお持ちである方がいらっしゃればあれですけども。前にもご報告したとおり、今年の 12 月のサウジアラビアでの会議は、全体のテーマが一つと、サブテーマが四つ決まったと。今、今までと同じように、セッションの募集が始まったということかと思えます。前回、河内さんから大体その前後の話、伺ったと思えますけれども、次回の MAG 会議が 4 月の 16 日ということで、第 6 回、理解しております。それ以降はあまりアップデートがないかなという理解ですが。どなたか、さらに最近の動きについてご存じの方がいらっしゃれば、教えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

前村さんとか山崎さんとか、何か特にございませんか。

前村： それでは。前村です。こんにちは。NETmundial(+10)のほう、少しご説明しておくといいいんじゃないかと思えますんで、画面、借りようと思えます。これで見えてると思えます。

加藤： 見えています。

前村： これは違う。なぜか知らないけど活発化チームのもの、アナウンスを出してしまいましたが。それが出したかったのではなくですね。すいません。これです。JPNIC（で出したものです）。これ、10年前のNETmundialでもそうだったんですけども。私、Executive Multistakeholder Committee(EMC)でした。今回はHigh-Level Executive Committee (HLEC)と、ハイレベルと書いてありながら、それしか委員会がないんですけども。そちらの一員でして、10年前も委員の1人だったので、JPNICから、こういった日本語のアナウンスを出そうというふうにしております。それで、これ3月29日にやおら出したんですけども、その前、1週間弱ぐらい前に、このコンサルテーションが始まっています。それで、コンサルテーションのほうは、NETmundialのページから、すぐに飛んでいただくことができますんで。今、最初にはこれが。NETmundial+10 Consultation というページがありまして、そこから、このようなページにまいります。遷移というのか、クリックするといきます。それで、このまま始めると、クエスチョナーに対して、フォームで何番かを選んだり、択一式にしたり、あるいはフリーフォーマットで答えを書いていくようなプロセスになっていきます。それにあたって、ここに、You may download a document with all the questions というのがありまして。これで、あらかじめどういうふうな質問があるのかということのを、ドキュメントでダウンロードしていただくことができまして、こちらのほうから、どんな感じのものを答えていけばいいのかということが書かれているのが分かります。こんな感じで、例えば、2014年のNETmundial statementに関しては、remain relevant to address today's digital governance challenges ということで、今もデジタルガバナンスの課題に対処できるようなものになってるか。Relevant というのは。なので関連性がそれくらい強いものがあるかというふうなことで、そういったことをあぶり出しながら、10年後のNETmundial 2014 から、10年後の今どういったことを洗い出して、変えて対応してということをやっていけばいいのかというふうなことを書いていくという感じ。それでHLECのほうで、こちらのインプットを、皆さんからいただいたものを参考にしながら、アウトカムドラフト、ドラフトアウトカム・ドキュメントを書いていく。そのドラフトアウトカム・ドキュメントを4月29日、30日にたたいていくんですけども。おそらくその前には、事前にドラフトが出てきて、それに対する意見募集というのもされるというふうな、私は理解しております。というふうなものです。それと、プログラムのほうですけれども、一応プレリミナリーなものを作りました。これによると、ワーキングセッションが1、2、3とあって、ここでドラフトアウトカムをたたいていくということと、その最初には、シーンセッティングのようなパネルを、今これ誰にしようかって考えてるとこなんですけれども、置いて。その次には、コンサルテーションは大体こんな感じでしたよというふうなことをお話しすると。また2日目には、GDCやWSIS+20やIGFなどなどについていう、いろんなものがあるけれども、それらは、どういうふうに関連付けるというのか、強調すればいいのかねみたいなセッションをやると。

その後、プラス 10 のアウトカムを、どういうふうにハンドリングしていきましょうかということを書いて、最後、採択をするというふうな感じのプログラムになっていて。これプレリミナリーなので、まだ。私、実はプログラムのほうのサブコミッティにいるんですけども、もうちょっとここ。手元のドラフトでは、これらの時間が刻まれたものがあったりするんですけども、そういったものが、時間がこっちのほうが長い短いとか、そういうふうな調整を今やってるといふこともありますし、パネリスト誰にすんのみみたいなことを、今からやおら決めるというふうな感じになっています。それでプログラムとして、委員の皆さんは、前日に丸 1 日かけてドラフトを、当日版ドラフトみたいなものを作るというふうな作業もありますんで、1 日、早めに入るというふうな感じになっています。あと、この NETmundial+10 の会合、29、30 日にあった後には、その翌日に同じグランドハイアットで G20 の情報の完全性（および偽情報、ヘイトスピーチ）とか、そういったもののセッションがあって、そちらもぜひとも参加してというふうなことを言われているということなので、そちらにも出ようというふうに思っています。その前に、関心表明というか、Expression of Interest が提示されていますので、それに従って関心表明をした方にも、やっと現地参加の可否を示すようなものが返ってきたようで。山崎もそれに従って EoI を出したら返って、現地参加できるらしいというふうなことを聞きました。というわけで、山崎も現地に参加しようとしております。それ以外にも、田中先生も現地参加に向けて調整をしようとしてるといふふうに伺ってしまして、それ以外にも日本人で現地入りされる方が、もしご存じでしたら、きょう教えていただくと大変ありがたいというふうに思っております。以上、簡単ですけども、私から以上です。

加藤： 皆さん、NETmundial に関して、ご質問とかございますか。特にございませんか。もしなければ、一つ、私から伺っていいですか。

前村： もちろんです。

加藤： NETmundial というのは、そもそも論みたいで、私が十分、理解してないんですけど。IGF のように毎年、個々で会議をやるということではなくて、NETmundial という何日かの会合を通じて、何か宣言を出すことが目的の会議っていうふうに理解したらいいんでしょうか。

前村： そうです。

加藤： 会議自身はそういう趣旨ですよ。

前村： そういう趣旨です。2014 年もアウトカムドキュメントを出す。今回、最初どういう、どんなものにしようかねという議論から始まって、結果的にアウトカムドキュメントを出すというふうなことにしています。もう一つ、IGF との違いは、国連の中の会議体ではないということです。IGF 自体は、別にインクルーシブというのか、誰が参加してもいいということでオープンではあるんですけども。ただ、国連が主導しているというふうなことで、国連の外でこういった議論をやりたいというふうなことを、CGI.br というのが、主催者であるブラジルインターネット調整委員会の方からは、そういう意向を聞いたことがあるという感じです。

加藤：分かりました。他いかがでしょうか、ご質問等。山崎さん、田中先生もいらっしゃるということで、かなり日本からのプレゼンスが高まるのかなと思います。これ、総務省の方もいらっしゃるのでしょうか。

前村：飯田さんが委員会にいらっしゃるんですが、残念ながら行けないとおっしゃってました。

加藤：分かりました。皆さん、特にご質問、大丈夫ですか。もし、ご質問あればまた後で、前村さん。どなたか手（が上がっていますか）。

前村：すみません。チャットでいただいています。何人程度の参加が見込まれているかというので。全体で、現地 200 入れるということになってると思います。ステークホルダーの割合は、今、調べます。後でチャットでご紹介しようと思います。

加藤：ありがとうございます。

前村：立石さん、OK、来ていらっしゃるということで。いらっしゃいますか、立石さん。

立石：います。私も、スパムに入ってたんで、最近まで。昨日、今朝だったか気が付きました。

加藤：立石さんもいらっしゃるんですね？

立石：いや、まだ行けるかどうか分からないですけど、取りあえずミッション終わったんで、これから調整しよう。

前村：分かりました。

加藤：分かりました。ありがとうございます。

前村：ありがとうございました。

加藤：よろしいでしょうか。取りあえず、これについては。それでは。それに続いて、NRI の第 3 回の会議が 3 月 25 日にあって、山崎さんから、このメーリングリストにもご報告いただいているんですけど、山崎さんに詳しくご報告を伺ってよろしいでしょうか。

山崎：山崎から簡単に報告します。基本的には、メーリングリストに投げた内容と全く同じなんですけれども。まず自己紹介とかっていう時間があって、ただ今回は、自己紹介した人は、いらっしゃらなかったと思うんです。その次に、2 月末に行われた MAG 会合の報告でした。これは、だから、サウジアラビア、現地で行われて、河内さんは遠隔で参加された。これは、前回の会合で河内さんから報告ありまして、処理しています。三つ目の議題として、今年、IGF2024 で開催予定の、NRI 関連セッションのテーマに関するアイデアの募集がありました。河内さんからのご報告で、セッションを減らすとか、セッションの種別、減らすとかって話がありましたが、NRI 関連のセッションは無傷というか、変更は去年からないということです。まず、NRI のコラボラティブセッションということなんですけども、セッション募集したら、参加者から活発に意見が出て、結局この三つに収束したようです。

新しいデジタル技術の責任あるガバナンス。選挙におけるフェイクニュース、誤情報への対処。次が、興味深いのは、DNSのドメインネームシステムの業界におけるサービスが不足している国の包摂と。インクルージョンということで。これはアフリカの人が提案したと思います。4月末までに提案書の素案を書いてくれということ、関心のあるNRIは、ワーキンググループに参加しなさいということになっています。ワーキンググループへの参加の申し込みは、3月31日なんで過ぎちゃってますけれども、ということになります。追加の議論ポイントとして、ガバナンスに関する考慮事項。特に、マルチステークホルダーの原則の役割と倫理的側面。政治と選挙の文脈での誤情報への対処ということで。あとは、AIの役割とユーザー保護。今年はアメリカの大統領選挙はじめ、いろんな国で選挙があるということで注目されてるようです。三つ目は、さっき言ったDNS業界でのインクルージョンです。それと並行して、全体としてサイバーセキュリティの側面が考慮されるということになるようです。2番目は、NRIのコーディネーションセッションということで、これは一つのセッションですけども、これについては、特に、グローバルデジタルコンパクトとWSIS+20の見直しに基づいたマルチステークホルダーのモデル、それとIGFとの、政府との連携について、NRIの役割ということで議論をするということになったようです。

3番目のNRIのメインセッションですけども。これは、NRIのコーディネーションセッションに提案された側面にフォーカスを当てて、IGFがNRIの支援を受けて、どのように進化できるかについて検討するというので、全体として、このセッションを通じて、サイバーセキュリティの国際的な協力を取り上げるということについて検討するというふうになっています。かなり活発な議論になって、いろんな人がじゃんじゃん意見を言うという内容になりました。私からは以上ですけど、質問とか感想とか、ございましたらお願いします。

加藤：皆さん、いかがでしょうか。すいません。私がNRI、これを出れなくて、河内さんと山崎さんに出させていただいて、山崎さんからご報告いただいたんですが。私これ、山崎さん、確認、1点お願いさせていただきたいんですが。昨年の場合に、この三つのワーキンググループという話で、3人で三つのテーマを、コラボティブセッションのテーマを分けて担当しようかというようなことをやった例があるかと思いますが。これって、少し遅れててもサインアップできますよね。それと。ごめんなさい。

山崎：3月末までっていうふうになってはいますけども、そんなにじゃんじゃん申し込みをしたというふうには見えないので、何とかなるんじゃないかと思いますが。

加藤：それが一つと。もう一つ。

山崎：どっか聞いてみれば。

加藤：そうですね。それが一つと、もう一つは、このNRIのメンバーじゃなくても、少し専門家がいたりという、そういう募集が昨年の場合もあったので、例えば、その分野の専門家だと、この一つ目の新しい技術とか、そういうのになると、この人も参加してもらったほうがいいという、そういう流れに昨年もなったと思うんですけども。この場合も、そういうことってあり得るのかなという

気がしたんですけど。そういう意味で言うと、このグループで誰か、他にも声、掛ける人というのが日本の中でもいるかもしれないので。いかがでしょうか。

山崎：それは各 WG 次第じゃないかと思えますけど。現時点では、私にはその答えを持ち合わせてないんで、IGF 側に聞いてみるしかないのかなと思えます。

加藤：この三つのテーマ、恐らく今度のサウジアラビアでも重要なことかなと思えます。上村先生、手を挙げていただいているんですが。お願いします。

上村：上村です。マイク消しちゃったままだったので、声だけですみません。私が随分、前に関わったときの印象というかそのときのケースだと、エキスパートを NRI の直接のメンバー以外から呼ぶというのはやりました。確か私が関わっていたときに、JPCERT の小宮山さんに声を掛けて、セキュリティ関係のコラボラティブセッションに出させていただいたことがあったと記憶をしています。というのが以前のケースです。ただ、NRI のネットワークに直接、入っていない人を呼ぶにしても、その気があるのであれば、ワーキンググループに入っていないと、この人、入れてくれというの言いにくいので、そういうリエゾンというのか、コンタクトの人はいる必要があると思えます。でないと、話がある程度まとまった段階で、この人、入れてくれよみたいに聞こえてしまうことにもなると思えますので、もし、そういうことを考えているのであれば、少し早めにワーキンググループに関わっていたほうが良いと思えます。

加藤：上村先生、ありがとうございます。そういう意味で、この三つのテーマで何か日本からも発信したいということがあれば、ぜひ、このグループで何か考えて、山崎さん経由なり、河内さん経由なりも含めてコンタクトをしたほうが良いかなという気がしますのと、それから、昨年セッションがだいたい煮詰まってきたところで、今、上村先生、言われた専門家とか、あとラポーターだとかコーディネーターとか、そういうのを募集みたいな、そういうこともあったと思うんですが。そのためには今から手、挙げておいたほうが良いかなという気がしたので、一応そういう指摘までですけれども。

他、いかがでしょうか。NRI に関しては、特にご質問ないですか。もしなければ、あと 1 カ月ありますけれども、ワーキンググループのセッションについて、こんなこと考えてるとかっていうような情報交換があれば、この場でお願いしたいと思えますが。今、手を挙げようと思ってらっしゃる方も、今、決まっているような方とか、何かそういうことご披露いただく方いらっしゃいますか。昨年の京都の場合は、ぜひ日本からたくさん参加しようということもあって、このグループでもそうですし、日本 IGF タスクフォースからも、いろんな方に声掛けをした経緯がありますけれども、今回もそういうのであれば、また。必ずサウジアラビアに行かないといけないわけじゃなくて、リモート参加というのも当然ありますので、ぜひ、ここにいらっしゃるかたがた、いろんな方に、こういう募集が始まっているということも、お声掛けいただければと思います。その件についても、NRI のセッションだけではなくて、全体についても、何かご意見とかご要望とかあれば、この場でご発言いただければと思いますが、いかがですか。では、これで特になければ、次のテーマに移らせていただきますが。本チームの今後の件ですけれども。前回、この会議、3月11日に活発化チームの会議がありまして、そこで

ご報告したとおりです。このチームの今後、法人化のお話については、チームの有志の方で準備委員会をやっていただいております。今 14 人ぐらい参加していただいておりますかね、かなりたくさんの方が参加していただいております。このところ毎週ほど開催しています。第 5 回が 3 月 21 日ということで、前回の活発化チームの会合以降、第 5 回が 3 月 21 日、第 6 回が先週 3 月 28 日、次、第 7 回目を来週の金曜日、4 月 5 日にやるということで、いつでも追加参加は可能ですので、手を挙げていただければ、この会議もご参加いただけるということになっております。それで、準備委員会の中で定款の案と、それからいろんな規則の案を提出して、それを検討させていただいていました。さらに JPNIC さんから修正案が出されて、今、その二つを見比べて、検討がさらに進められているという段階です。JPNIC さんの修正案の、特に注目すべき点というのは、理事会と本会議って。名前、覚えてらっしゃるかあれですけども。この活発化チームで今、いろいろやっていたようなことが、本会議で継続するようなイメージがあるかと思うんですけども。それに加えて、法人化するという場合は、理事会という、法人組織を維持するための法定の組織が必要になります。そこで、それぞれがどんなことをやるのか、どんな権限を持つのかというようなことが一つ、大きな議論のポイントになってると思います。今まで活発化チームで、きょうもそうですけれども、やっていたようなことを含めて、今後どういうことを新しい法人でやっていくのかということ想定して、それらを今後の法人では、誰がどういうふうに実行していくかということ今、議論が始まっているところで。

私のほうから、今までの活発化チームの一連の活動の延長として、今後こういうふうにするという案を出して、JPNIC さんからも同じようにお話があって、次回の 7 回目の会議、来週の金曜日は、それに対してもう一度、JPNIC さんから、個別にお考えを説明していただくということになってる段階であります。というのが私の今、準備委員会の会議の説明、理解なんですけども。前村さん、あと立石さんもずっとご参加ですけども、付け加えとか修正とか含めて、コメントございますでしょうか。

前村：前村です。私のほうからは特にありません。的確に様子を要約していただいたと思います。

加藤：立石さんからもよろしいですか。

立石：はい。私も。

加藤：お二人だけじゃなくて、他にも。山崎さんも参加されてるわけですけども。

立石：今々、こういう話かなとは思いますが。そういった中で、どうするかという話はあれしてるんですけど、まだ外に出せるほど話が出ていないので、それはまた、できた時点でお話ししようと思います。

加藤：分かりました。ありがとうございます。この件に関して、ご質問とか他に追加でコメントいただくことございますでしょうか。あと、今のお二人、山崎さんに加えて、高松さんとか松平さんがご参加ですかね。どなたか、もしコメントとかご質問いただくのであれば、今お願いしたいと思います。

松平：すいません。松平と申します。コメントできるレベルじゃないんですけども、話は注意深く聞かせていただいております。

加藤：ぜひ引き続き準備委員会へ、松平さんもよろしくお願ひしたいと思います。高松さんから今、特に追加のコメント、ないというのをチャットでいただいたんですけども。他、ご質問等いかがですか。大丈夫でしょうか。継続して準備委員会で、細かい規則の読み方とか、そういうレベルでやっていますので、もちろんご興味があつてご参加いただける方は、ぜひ参加いただきたいと思います、そうでなければ、また次回、経過報告をさせていただくということで、ご理解いただきたいと思います。私のほうか思つていたきょうの議題、きょうはあつさりとしていうか、早く議題がカバーできたと思うんですけども。何か他に、ご意見等ございますでしょうか。特にないでしょうか。もしなければ、次回の活発化会議ですけども、4週間後だと4月29日になるということで、祝日であり、かつ連休に入ってしまう方も多と思うんですが、その後になりますと、かなり先になりますので、できれば3週間後の4月22日の月曜日、同じ5時からということをお願ひしたいと思います、よろしいでしょうか。その時間はどうしても都合が悪いとか、別の時間という方いらっしゃいますか。その頃になって、できれば、先ほどのサウジアラビアのセッションへの参加の情報とか、そういうのをお持ちの方。それから先ほどのMAGの次の会議が4月16日あるので、その結果についても、恐らく河内さんから聞けるのかなというふうに思います。ということで、次回4月22日でよろしいでしょうか。すいません。今チャットで堀田さんうんぬんというのが出てたんですけど、すいません、僕よく見えなかったんですけど。

前村：すいません。これ、NETmundial+10にいらっしゃるかということをお聞きしたかっただけです。すいません。

加藤：ごめんなさい。分かりました。次回は4月22日にさせていただくということで。きょうは早めに終わりますが、皆さん、まだ言い残したこととか、聞き逃したこととかございますか。今のNETmundialの追加でも結構ですけども。特にございませんか。前村さんも、言い残したことは特にないでしょうか。

前村：大丈夫です。

加藤：そういうことで、きょうは、これでお開きさせていただきたいと思います。次回4月22日、よろしくお願ひしたいと思います。どうも皆さん、ありがとうございました。失礼します。